

平成17年度宇都宮市有林管理委員会（概要）

開催日時 平成17年11月21日（月）午前10時30分から正午

開催場所 市役所 B I 会議室（地下1階）

出席者氏名

〔委員〕 安倍委員，北村委員，佐藤委員，館野委員，田中委員，床井委員，半田委員

〔事務局〕 農務部長 他 事務局職員

- 会議経過
- 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 平成18年度市有林施業実施計画の諮問
 - 4 報告事項
 - （1）市有林の現況について（資料-1）
 - （2）平成17年度市有林施業実施状況（資料-2）
 - 5 審議事項
 - ・平成18年度市有林施業実施計画の策定について
 - 6 その他
 - ・宇都宮市有林管理委員会の運営について

5 審議事項

- ・「平成18年度市有林施業実施計画の策定」について

委員からの主な意見・質問等（要旨）

委員

- ・収入間伐の収支はどの程度を見込んでいるか。

事務局

- ・材の売払収入は，スギ・ヒノキあわせて252万円程度，
国からの補助金は，保育間伐と収入間伐をあわせて77万円程の見込みである。
- ・支出の委託料については，保育間伐と収入間伐をあわせて280万円程度である。

委員

- ・素材生産については，随契で売るのがか。

事務局

- ・鹿沼市にある県森連の市場で売る。

委員

・樹種は何か。

事務局

・51年生のスギ・ヒノキである。

委員

・一定の地域の立木全体について、1本ごとに測定記録する毎木調査をするのか。

事務局

・500m²(20m×25m)の標準地調査を2箇所行い毎木調査をしている。

委員

・公益的機能については、どのような機能があるのか。

事務局

・篠井市有林については、水土保持林である。

委員

・保安林になっているのか。

事務局

・篠井市有林は保安林ではない。

委員

・保安林であったとしても、指定施業要件が35%まで間伐できるので、保安林でないのに20%の伐採率は低いのではないか。10年くらいで繰り返し間伐するのであれば、もう少し強度に間伐をやってもよいのではないか。

事務局

・3割伐採すると、切りすぎるため雪害のおそれが心配されるので、2割で定期的に手入れしている。

委員

・伐採率20%は、低いかなという気がした。

・20%以下では、受光量が少なくなり下層植生に影響が出るのではないか。

・この市有林では、長伐期の優良材の生産を目的にするのか、公益的機能の方にウエートを置いて管理していくのかを考えれば、収入のための林業経営というよりは、地域の環境保全のための管理をしていくべきでしょうね。

事務局

・京都議定書達成に向け環境面に配慮した施業や、民有林の模範林としての管理している。

会長

・それでは、お諮りいたします。

・平成18年度宇都宮市施業計画については、「諮問の原案どおり適当と認め、計画どおり事業が達成されることを望む。」ということで、答申してよろしいか。

各委員

・異議なし

会 長

- ・後日，市長に答申書を手渡す。日程については，会長に一任願いたい。

各委員

- ・異議なし

会 長

- ・以上で，本日予定された議題は全て終了する。